



2025～26 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT
NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第2153回



年末家族会 2025 年 12 月 15 (月) 18:30～

*ご家族でご参加ください

2025 年 12 月 08 日

◆ゲスト紹介

社会福祉法人 隣の会 齋藤勝久 様

◆会務報告

1. 地区補助金申請期限のお知らせ
2. 宮崎中央ロータリークラブ創立 40 周年記念式典・祝賀会のご案内
日時：令和 8 年 4 月 11 日 (土) 17:00～
会場：シーガイアコンベンションセンター
登録料：15,000 円
3. 鹿児島県東部グループ インターシティミーティング開催について (ご案内)
日時：2026 年 2 月 1 日(日) 9:30～11:45
場所：やっちくふれあいセンター
*講演 田中久夫氏
(第 1 地域ロータリー会員増強コーディネーター)
4. 「書き損じハガキ・キャンペーン 2026」へのご協力をお願い (依頼)
5. 新年交流会のご案内 (鹿屋市国際交流協会)
日時：令和 8 年 1 月 16 日(金)19:00～
場所：韓国料理 朴家



会長の時間

会長 久木田 弘さん

皆様こんにちは。
本日はお話をする前に、この後幹事からも報告がありますが、国際大会登録のお知らせと、先週の金曜日に東部グループで開催された会長幹事会の報告



をした後、今月の重点月間についてお話いたします。

まず来年 6 月に開催される台北国際大会に参加される方の登録割引が今月の 15 日までとなっています。これを過ぎると来年の 3 月 31 日になり 100 ドル上がります。本日の例会終了時に臨時理事会を開催いたしますので台北国際大会に登録希望の方はご参加ください。

次に、東部グループ会長幹事会が先週東串良で行われて 8 クラブの会長幹事 16 名と東部ガバナー補佐並びに地区会員増強拡大担当の計 18 名で、各クラブの会員数増減についての発表と、来年 2 月 1 日開催する IM(インターシティミーティング)開催について会議がなされました。当クラブについては現在 39 名で目標より 7 名減です。後半の追い込みで 46 名に会員の増強をしなければなりません。50 周年記念式典までに 50 名を目標に皆様方の会員増強のご協力を何卒お願い致します。

また、2 月 1 日に開催する IM の件ですが、会費は全員登録で 1 人 1000 円負担となっています。場所は志布志市やっちくふれあいセンターで午前 9 時から午前 11 時 45 分の間で開催されます。講師は以前私が会長の時間で、1 年間で 51 名の会員増強をされた 2840 地区高崎 RC の田中久夫 PDG の事を映像でご紹介しました方がお見えになり、演題が「そうだったのか!? ロータリー」という題で講演会が開催されます。

この講演会のホストクラブは志布志みなと RC の時会長と実行委員長にかのや東 RC 宮田会長となりましたが、宮田さんから実行委員長を引き受ける条件として、各クラブ 50%以上の出席を強要され、

| 次回プログラム | | |
|---------------|-----------|----------|
| 12 月 22 日 (月) | | |
| 卓話者: | 久永 貢一 さん | |
| 担当委員会: | 出席委員会 | |
| 3分間スピーチ: | 竹之内 義文 さん | |
| 出席報告 | 会員数 | (36)39 名 |
| | 出席数 | 30 名 |
| | 出席率 | 83.33 % |

| メイクアップ情報 | | |
|----------|--------|-------------------------------|
| 鹿屋 | 12月17日 | (水)ホテル こはやし クリスマス家族会18:30～ |
| かのや東 | 12月18日 | (木)かのやグランドホテル |
| 串良 | 12月15日 | (月)セントロランド 道の駅 |
| 志布志 | 12月16日 | (火)天黒リゾートホテル 年忘れ家族会19:00 |
| きもつき | 12月17日 | (水)高山温泉ドーム |
| 南九州大崎 | 12月18日 | (木)セントロランド 道の駅 クリスマス家族会 |
| 志布志みなと | 12月17日 | (水)天黒リゾートホテル クリスマス家族会19:00 |

| 鹿屋西ロータリークラブ | |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 会長: | 久木田 弘 |
| 副会長: | 山崎 隆夫 |
| 幹事: | 西ノ原庄一 |
| 例会日 月曜日 12:30～13:30 | |
| 例会場 | ホテルさつき苑 TEL:40-1212 |
| 事務局 | 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10 |
| | ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959 |
| E-mail | kanoya24@po5.synapse.ne.jp |



その後お昼の12時頃に終わっても昼食をとる場所がないので、IM終了後、8クラブ合同例会にして各クラブの例会を2月1日に振替えてほしいと提案がありました。この件につきましては幹事からの報告もありますが、本日例会終了後に臨時理事会を行いますので役員理事の方はご参加願います。以上でお知らせと報告を終わります。

本題に入ります。12月は重点分野である「疾病予防と治療月間」です。

このテーマについて、少し話したいと思います。ロータリーの疾病予防と治療と聞いて、もっとも象徴的なのは世界的なポリオ根絶活動「ポリオプラス」があります。1980年代、世界では年間35万人以上の子どもがポリオによって歩けなくなり、125か国以上で感染が広がっていました。しかしロータリーは、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、各国政府と連携し、ワクチン接種の徹底、啓発活動、資金提供を長く続けてきました。その結果、現在ではポリオ症例は99.9%以上減少し、常在国はアフガニスタンとパキスタンの2か国のみとなりました。しかしながら、“あと少し”が最も難しいと言われる。治安や文化的な背景、ワクチンへの誤解など、さまざまな要因が根絶の妨げになっています。それでもロータリーは決して諦めることなく、世界中の仲間と連携し、最後の一人の子どもにワクチンを届ける取り組みを続けています。疾病予防と治療は、ポリオだけではありません。世界では毎日たくさんの人々の命が、予防すれば防げた病気によって奪われています。

ロータリーはこれらの課題に対し、次のような幅広い取り組みを行っています。

第一に、感染症対策とワクチン普及。麻疹、風疹、結核、肝炎など、予防できる疾患に対し、ワクチン接種や教育活動を支援しています。

第二に、母子の健康を守る取り組み。世界の多くの地域では、妊婦が安全に出産できる環境が整っておらず、医療機材や専門スタッフも不足しています。ロータリーは助産師の育成、医療設備の提供、乳幼児期の栄養指導などを通じ、母子の命を支える活動を行っています。

第三に、医療アクセスの改善。病院が遠い、設備がない、医師が不足している地域では、基本的な治療すら受けられません。ロータリーは移動診療車の導入、診療所の整備、救急車や検査機器の寄贈など、地域医療を底上げする支援を続けています。

第四に、疾病予防の根幹である水と衛生の改善。安全な飲料水、衛生的なトイレ、手洗い教育は、感

染症を防ぐ最も基本的な手段です。ロータリーは井戸の建設や学校への衛生設備の提供を通じて、多くの命を守ってきました。

そして近年は、生活習慣病やメンタルヘルスといった新たな健康課題にも取り組んでいます。高血圧や糖尿病の予防、がん検診の支援、青少年のメンタルヘルスケアなど、時代とともに内容も進化しています。

これらの中でロータリーが特に全会員に継続して取り組んでいるポリオプラスの動画でポリオ根絶啓蒙動画（第2750地区）がありましたのでご覧いただき会長の時間といたします。



3分間スピーチ

椎本康弘さん

みなさんこんにちは。
本日は今後の私たちの働き方や業務プロセスを大きく変えるDXについてお話しします。



先日、お取引先の忘年会に参加した際に、同じ鹿屋地区のロータリアンである宇都電設の宇都社長がチャットGPTを使ってご挨拶されました。これは面白いと思い皆様にもご紹介したいと思います。

それではチャットGPTと会話します。

質問 「自己紹介をお願いします」

質問 「なぜ多くの情報を知っているのですか」

質問 「鹿屋西ロータリークラブについて教えてください」

質問 「チャットGPTの使用にあたり注意すべき点、気を付ける点を教えてください」

質問 「鹿屋西ロータリーの皆様へユーモアを交えてご挨拶をお願いします」

最後になりますが、若い方々、中学生・高校生や学生さんの多くは普通に使いこなしております。我々も時代の変化に対応することは非常に大切です。ただしチャットGPTの使用にあたっては、常に適切な距離感を確認しながら使用することも忘れてはいけません。

ご清聴ありがとうございました。



会員卓話



国際奉仕委員長 梅北健一さん

皆さま、こんにちは。

本日は国際奉仕委員会として卓話のお時間を頂き、ありがとうございます。

国際奉仕と聞くと、「海外支援」

「留学生」「国際交流」

友好クラブである龍潭クラブとの宴などをイメージされるかもしれません。

しかしその本質は、ロータリーの理念を世界規模で実現することにあります。

本日は、

1. 国際奉仕の役割
 2. 世界のロータリーの現在
 3. 鹿屋西ロータリークラブとしての可能性
- この3点を中心にお話しさせていただきます。

国際奉仕とは何か

- ▶ 国際奉仕は、ロータリーの「五大奉仕」の一つであり、
「国境を越えた理解・親善・平和の促進」を目的としています。

● 国際奉仕の主な分野

- ▶ 海外での奉仕プロジェクト
- ▶ 青少年交換（RYE）
- ▶ グローバル補助金を利用した国際プロジェクト
- ▶ 海外クラブとの姉妹クラブ・交流
- ▶ 災害支援や医療・教育分野での国際協力

● なぜ国際奉仕が必要か

- ▶ 世界はつながっており、地域の課題と国際課題は密接
- ▶ 小さなクラブでも、国外に大きく貢献できる仕組みがある
- ▶ 国際交流はクラブの視野を広げ、会員の学びや活力につながる
- ▶ ロータリーは“国境を越えた奉仕”を実践できる、数少ない団体です。

世界のロータリーと国際課題

現在、ロータリーが取り組む代表的な国際課題を紹介します。

■ ポリオ根絶活動

- ▶ 1950年代に35万人以上いたポリオ患者は、ロータリーの継続支援によって現在は数十名にまで減少しました。
世界的な成果の裏には、クラブ一つ一つの積み重ねがあります。

■ 教育・識字率向上

- ▶ 各国で教育格差が深刻化しており、ロータリークラブは学校建設や教材支援を続けています。

■ 水と衛生

- ▶ 安全な飲料水の確保は、世界の多くの地域

で依然として最重要課題。

ロータリーは井戸建設や浄水システム支援などを行っています。

■ 平和フェローシップ

- ▶ 将来の国際的リーダーを育成するための大学院奨学制度。
年間130名以上の若者が世界各地で平和構築を学んでいます。
- ▶ こうした取り組みは、私たちのクラブも参加可能です。

鹿屋西ロータリークラブとしてできる国際奉仕

鹿屋から見える国際奉仕の可能性を、いくつかご紹介します。

① 海外クラブとの交流（姉妹クラブ・共同事業）

- ▶ オンラインを活用すれば、距離に関係なく月1回の交流や合同例会も可能です。
- ▶ 海外クラブと共同で学校や井戸の支援
- ▶ 文化紹介・特産品オンライン交流会
- ▶ 双方向の卓話交換

② 青少年交換（RYE）・短期交換

- ▶ 地域の若者が世界へ飛び出す機会を提供する取り組み。
クラブがホストやサポートに関わるだけでも、国際奉仕に貢献できます。

③ グローバル補助金プロジェクト

- ▶ RIからの補助金を活用すると、小さなクラブでも大きなプロジェクトが可能になります。
- ▶ 海外の医療機器支援
- ▶ 農業技術支援（鹿屋なら特に強い分野）
- ▶ 教育ツール提供
- ▶ 災害復興支援

④ 地域の外国人支援＝国際奉仕

- ▶ 鹿屋市にも多くの外国人の方が在住しています。
彼らへの支援も立派な国際奉仕です。
- ▶ 日本語教室の支援
- ▶ 国際交流イベントの開催
- ▶ 外国人児童への学習支援

⑤ 鹿屋の魅力を海外に発信（デジタル活用）

- ▶ SNSやオンラインイベントを利用した観光・文化発信。
若手会員が活躍しやすい分野でもあります。

国際奉仕委員会としての今年度の活動（予定）

- ▶ 龍潭 RC プロジェクト（三和小学校の図書

館改修支援)

北山ロータリー財団委員長よりグローバル補助金申請(7,000 ドル)

- ▶ 台湾花蓮県土砂災害「9月23日」支援金(皆様ありがとうございました)
- ▶ 相模原南 RC50・55 周年式典参加協力(11月7日～11月9日) 14名参加
- ▶ 平和の大使(台湾訪問: 中2女性・高2女性)
2月24日(火)～2月27日(金)
梅北・山下参加
- ▶ 龍潭 RC 鹿児島訪問予定
3月20日(金)～3月24日(火)
- ▶ 国際大会参加(台湾台北)
6月13日(土)～6月16日(火)
27名参加(内2名串良 RC)
- ▶ 国際奉仕は大きな活動に見えますが、
一歩目は小さな交流からでも十分です。

国際奉仕は、ロータリーの原点である
国境を越えた親善と平和の実現という理念を
実践する場です。

鹿屋という地域からでも、世界に貢献できる方法
はたくさんあります。

今年度も、皆さまと共に「世界とつながるロー
タリークラブ」を目指していきたいと思います。

どうぞ今後とも国際奉仕委員会へのご支援・ご
協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

ロータリーニュースより

スポーツの力で変化を生み出す

ロータリークラブとローターアクトクラブにとっ
て、スポーツは単なる競技以上のもの。それは、社会
に良い変化をもたらすための手段でもあります。

ヨーロッパでのサイクリングロード、ブラジルのテニ
スコート、日本の緑豊かな公園など、世界各地のロー
タリー会員は、スポーツという世界共通の魅力を利用
して、ポリオ根絶、環境保護、教育支援、社会的イン
クルージョン推進などの活動を展開しています。

全世界

サイクリングで友情と奉仕を

「Cycling to Serve」は、サイクリングと奉仕活動に
熱心なロータリー会員が集まる国際的なロータリー
親睦活動グループです。世界選手権やヨーロッパを巡
る4日間の自転車ツアーなど、さまざまなイベントを
通じて友情を育み、募金を行い、地域的・国際的プロ
ジェクトを支援しています。険しい峠であれ、のどか

な田園風景であれ、自転車のペダルをこぐごとに平和
とつながりを生み出しています。

日本発

青いシャツでみんなで歩くー 自然を感じながら社会 貢献できる地域イベント

昨年度、名古屋熱田ローターアクトクラブの主催で、
チャリティーウォークイベント「Walk In Blue」が地
元の公園で開催されました。今年で3回目となるこの
イベントは、地域住民に自然や環境への関心を深めて
もらうと同時に、社会貢献も目指す取り組みとして注
目を集めています。

当日は、参加者全員に青いシャツが配られ、澄んだ秋
空の下、青一色に染まった集団が約5キロのコースを
ゆっくりと歩きました。歩きながらスマートフォンに
配信される自然や環境に関するクイズに挑戦し、参加
した子どもたちはゲーム感覚で楽しみながら学ぶこ
とができました。

イベント参加費の7割は、「子育て支援のNPO まめ
っこ」に寄付され、残る3割は今年度の開催費に充て
られます。この仕組みは第1回目から継続されており、
過去には地元の環境保護団体や「愛知こどもホスピス
プロジェクト」に寄付しました。持続可能な活動とし
て地域で着実に根づきつつあるこのイベントは、地元
の人びとや会員が自然を感じながら歩く、かけがえの
ない時間となっています。

メキシコ発

2,400キロのポリオ根絶ライド

メキシコ・チワワ州のシウダー・フアレスから米国イ
リノイ州エバンストンのロータリー本部までの距離
は、1,500マイル(約2,400キロ)。フェリペ・メサさ
んと仲間たちは、12日間かけてこの道のりを自転車
で走破しました。道中でポリオ根絶への支援を呼びか
け、集まった10万ドルの寄付は、ゲイツ財団からの
2倍額の上乗せによって、30万ドルへと膨らみまし
た。この資金は、世界に未だ残るポリオ常在地域での
予防接種活動に活用されます。

◆スマイル報告

〈2件〉

○昨日、次男が結婚式を挙げる事が出来、ひと安心で
す。..... 峯崎

○齋藤様、本日は西ロータリー例会へお越しいただき
ありがとうございます。ぜひご入会されて楽しいロ
ータリーをお待ちしています。..... 久木田

○本日のニコニコBOXスマイルは2,741円です。

累計(一般) 181,600円

(財団) 63,612円 (米山) 82,237円

***** ありがとうございました *****

週報担当: 志村